



エリアスタディーズシリコンバレーコース説明会 シリコンバレーの起業家精神を学ぼう！

中川真太郎（経済学部）

はじめに

カリフォルニア州シリコンバレーはAppleやGoogleなどアメリカのIT企業の一大拠点です。

シリコンバレーにある協定校のメンローカレッジは、リベラルアーツやビジネスに強い大学です。このエリアスタディーズでは、同大学を訪問し、英語の授業を受講し、学生と交流します。さらに、本学が協定を結んでいる米国のNPO法人Silicon Valley Japan College(SVJC)にも協力してもらい、現地で活躍する日本人エンジニアにも講義をしてもらいます。また、インテル本社、Apple本社ビジターセンター、Googleplexも訪問する予定です。さらに、シリコンバレーのベンチャーキャピタルも訪問します。

このエリアスタディーズでシリコンバレーの起業家精神を体感し、チャレンジ精神を身につけてください。



スケジュール

- 申込者対象オリエンテーション：11月20日(水) 12:20~12:50
- 事前授業：2025年2月7日1~4限
- 渡航前オリエンテーション：2月20日(木) 2限
- 現地学習期間：2025年3月2日~3月12日
- 現地滞在先：ホテル（2人1部屋）（予定）
- 事後授業：2025年3月17日2限

- 引率：
 - 中川真太郎（経済学部）
 - 石川 隆士（全学共通教育センター）



事前授業（2月7日1～4限）

- 1～2限 本田先生（SVJC）による授業とワークショップ
- 3限 石川先生による授業（海外旅行の英会話等）
- 4限 中川によるオリエンテーション（主に学習関係）およびスマホアプリの設定等



現地学習 第1日（3月2日）

- 大阪伊丹空港集合、大阪伊丹空港発、成田空港経由、サンフランシスコ国際空港。
- 空港からホテルにバスで移動
- ホテルの会議室にてオリエンテーション
- その後、周辺散策
 - 近くのスーパーなどに全員で散策、飲食などを調達します。（※各自購入）
- ホテル着、チェックイン。
- ホテルは、サニーベールにあるThe Domain Hotelです。

宿泊先の詳細はこちらから↓



現地学習 第2日 (3月3日)

- レクチャー：講師 榎本博之 (SVJC)
 - シリコンバレーとは
 - アントレプレナーシップとは
- Intel 本社/Intelミュージアム訪問
- Google本社／Visitor Center訪問
 - 制限の関係で社内には入りません。
- Apple Park Visitor Center 訪問
 - 秋場博 Apple ソフトウェアエンジニアに面会予定



現地学習 第3日 (3月4日)

- レクチャー：講師 フジサカ美和
 - 日本の教育とアメリカの教育の違い。シリコンバレーの教育は何を可能にするのか？
- レクチャー：講師 原健太 HelloSake CEO / DoorDash ソフトウェアエンジニア
 - 世界でチャレンジする事が重要な理由、実際にシリコンバレーで働く事について
- ネットワーキング・イベント参加
 - 様々な人種の人材や数多くの起業家、業界関係者が集うシリコンバレーならではのカジュアルな会合に参加します



現地学習 第4日 (3月5日)

- 英語の授業：Menlo College
Erik Bakke先生
- Menlo Collegeでの学生交流
& グループ活動
- ネットワーキング・イベント参加



現地学習 第5日（3月6日）

- レクチャー：講師 佐藤公一（Google）
 - GAFAで働くこと
- Computer History Museum訪問
 - アテンド：山崎敦史（元 IBM、Sun Microsystems）
 - シリコンバレーの発展を支え、発展させてきた歴史が詰まった博物館で歴史の流れと背景から現在を学ぶ。
- Pegasus Tech Ventures訪問
- ネットワーキング・イベント参加



現地学習 第6日 (3月7日)

- グループごとにプレゼンの準備
- プレゼン発表会
 - プログラムで学んだ事、帰国後に「～します」「～に挑戦します」という宣言をしてもらいます。
- 懇親会



現地学習 第7日 (3月8日)

- 自主研修
 - グループで自主的に行き先を決めて研修する。



現地学習 第8日 (3月9日)

- フィールド・トリップ
 - 行き先は検討中です（参加人数等を踏まえて最終決定し、事前授業でお知らせします）



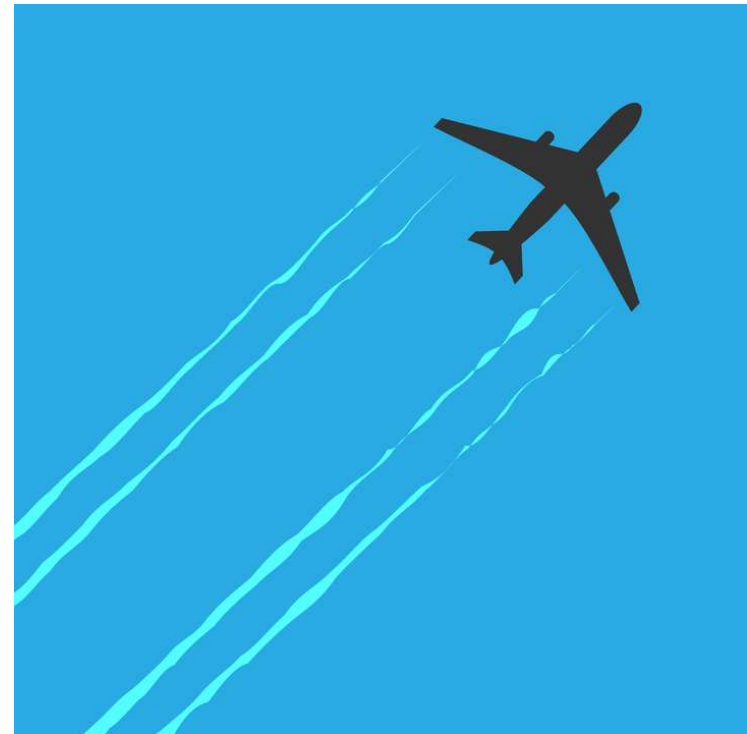
現地学習 第9日 (3月10日)

- スタンフォード大学にて講義&キャンパスツアー
 - スタンフォード大学の研究者による講義を受講し、同大学の学生によるキャンパスツアーに参加し交流。



現地学習 第10,11日 (3月11,12日)

- 3月11日
 - ホテル発、サンフランシスコ空港。
 - サンフランシスコ発成田行きに搭乗
- 3月12日
 - 成田空港経由、大阪伊丹空港着。解散。



事後授業（3月17日）

- 本プログラムを受講して学んだことの発表等



注意事項

- 現地学習のスケジュールや見学先は、10月25日現在の予定であり、諸般の事情により、面会相手や見学先などが変更される可能性があります。
- 現地学習期間中は集団行動になります。集合時間や規則など決められたルールを守ることが求められます。
- 物見遊山ではありませんので、受け身の姿勢ではなく、自分で積極的に現地の先生方に質問したり、発言したり、現地の人々と交流していくことが大切です。



受講資格

- 学部・学環生であって、申し込み時点で通算GPAまたは直近の半期GPAの少なくとも一方が1.0以上であること。
 - ただし、1年次の学生が夏コースの参加を希望する場合など、申し込み時点でGPAが付与されていない場合は、申し込み前に国際交流センターによる参加資格審査を受けて、参加資格を認められたコースに限り参加を申し込むことができる。なお、参加資格審査は、出願書類審査、その学期の出席状況の調査、面接（必要な場合）等に基づき総合的に行う。
 - ※大学院生の場合は、エリアスタディーズは大学院科目ではないため履修はできないが、指導教員の推薦があればプログラム（事前事後授業・現地渡航等）への参加は可能。詳細は国際交流センターまでお問い合わせください。



募集人員

- 8～20名
 - 最少催行人数（8名）に満たない場合は再募集を行うことがあります。
 - 最大募集人数（20名）を超える場合は、選考となる場合があります。
 - 追加募集を行っても最少催行人数に満たないときや、国際情勢の急変等、不測の事態には、中止となる場合があります。



Q&A

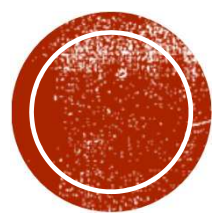
- Q どの程度の英語力が必要ですか？
- A 語学力に関する参加資格はありません。勉学意欲のある学生であれば、語学能力にかかわらず応募できます。ただし、現地の授業の一部は英語で行われます。



Q&A

- Q 3月8日は自主研修ですが、外泊できますか？
- A できません。現地学習中は必ず、指定のホテルに宿泊してください。また、貴方自身と同行者の安全のために門限を設定しますので必ず守ってください。





質疑応答

